

# はづ

No.22

羽津地区市民センター  
羽津地区社会福祉協議会

平成3年10月25日



親子工作教室

牛乳パックで    な小箱(作り方は3ページ)

## きれいで住みよい はづのまち!!

…………ごみ減らし運動に ご協力を…………

羽津地区人口 総数14,601人 男7,431人 女7,170人 世帯数4,885世帯 (H. 3. 9 末現在)



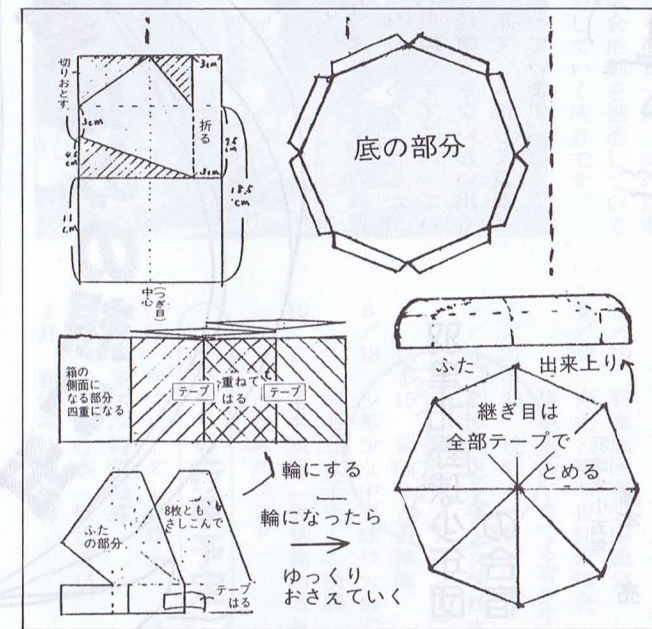


① 牛乳パックの型をとり、箱、ふたの部分をセロテープで、しっかりと貼り合わせる。

② ふたのとがった部分をゆっくり押さえて、ならかなふたに作る。

③ 形ができたなら、和紙を貼る。

④ すっかり乾いたら、ニスを塗る。ニスは二、三度重ねて塗ると、つやがまし美しい。



# すすめよう リサイクル

**別名「二丁目 婦人会バザー」**

押し入れにしまい込んである贈答品、不用品などを持ちより、ガレージセール、またはフリーマーケットが開けないだろうか。家庭に埋もれた不用品を交換し、合理的に使うことができたなら、思いで、別名「二丁目婦人会でリサイクル運動」に取り組んでみました。

志氏神社の夏祭りの当日、午後五時から八時まで、ピヤガーデン前で開催しました。会員や知人から出された品物は、タオル、シャツ、衣類、バッグ、鍋、食器、本、

**使えるものは  
リサイクルセンターへ  
TEL26-5353**

机・いす・自転車・家具・家電製品・応接セットなど……安全な再利用可能物簡単な修理で使用できるもの  
●月末の日曜日●『なんでも四日の市』で好評！提供しています。

ストーブガードなど多様でしたが、心配した天候もなんとか持ちこたえ、ほぼ完売することができました。

売上げ金額のうちから二万円を、雲仙災害義援金とする事ができました。細部について、いろいろ検討する点もありますが、初めての試みとしては大成功だったと喜んでいます。

ソ連軍により武装解除の上、シベリアに送られ抑留生活が始まりました。もちろん、収容所では電気もなく、皿に油を入れて灯芯を燃やして夜を過ごして、当時、夏の軍服のままでしたので、冷えこみがひどく僅かな睡眠時間に何回となく小用に行く状態でした。また、食糧も少量のトウモロコシと原麦で、飯ごう一杯の雑炊を六名が分けて食べるというありさまで、強制労働と極端な空腹、栄養失調などで、毎日多数の戦友が無念の死を遂げました。

昭和四十四年、羽津の皆さんに仲間入りさせていただき、間もなく町自治会長、民生委員の他、四日市北警察署の少年警察協働員の要職に名を連ねて微力ながら地域社会に奉仕している今日この頃です。お陰様でいままでに、県知事、県警本部長、四日市北警察署長から感謝状を贈られ、また本年は、海部総理大臣から、シベリア抑留に対する慰労状と銀杯を受領し、感激しています。

いま、多難のなか生き抜いた過去を振り返るとき、感無量であり、私の昭和は波乱に満ちた人生であったと思います。

私の昭和  
**シベリア抑留記**  
羽津中1丁目 竹尾 栄

「あ、頑張つて生きてこられてよかった。昭和二十二年五月、シベリア抑留の生活から開放され、乗船地ナホトカ港に着いたときの実感です。昭和十九年八月、現役衛兵として京

「あ、頑張つて生きてこられてよかった。昭和二十二年五月、シベリア抑留の生活から開放され、乗船地ナホトカ港に着いたときの実感です。昭和十九年八月、現役衛兵として京

# 快適環境のまちづくり

## 深刻化！ゴミ処理問題

皆さんの家庭から、毎日たくさんのごみが出されています。各自自治会長さんの努力にもかかわらず、いまだにごみ出し三原則が守られず、大変残念です。先般、ある地区で収集車が埋め立てごみを収集中、火災が発生する事故がありました。一つ間違えば事故になります。事故の再発を防止するために、ごみ出し三原則（決められた日、決められた場所へ）、を、確実に守って下さい。特に、スプレー缶は、必ず穴を開けて「再生可能物」として出す。石油・ストーブは灯油を燃やしきってから「再生可能物」とし、灰は、消火を確認してから出す。の三点を徹底してください。

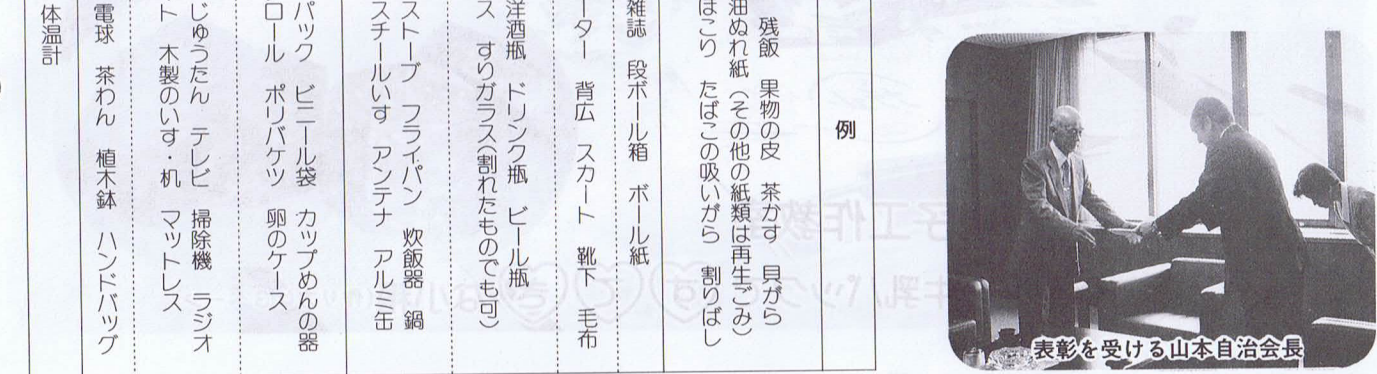


**大宮第三自治会 市長表彰!!**

去る九月二十五日、四日市清掃事業功労者として、市内で大宮第三自治会ほか二自治会が、市長表彰を受けました。ごみ出し三原則を守り、一人ひとりが協力したのを認められたもので、各家庭に記念品が配られました。

**ごみの分別早見表**

ごみの種類	例
一般ごみ (燃えるもの)	料理くず、残飯、果物の皮、茶かす、貝がら、ちり紙、油ぬれ紙 (その他の紙類は再生ごみ)、掃除機のほこり、たばこの吸い殻、割りばし
再生可能物	新聞紙、雑誌、段ボール箱、ボール紙、肌着、セーター、背広、スカート、靴下、毛布、一升瓶、洋酒瓶、ドリンク瓶、ビール瓶、透明ガラス、すりガラス (割れたものでも可)
埋め立てごみ	プラスチック類、ビニール袋、カップめんもの器、発泡スチロール、ポリバケツ、卵のケース、トレイ、バック、掃除機、ラジオ
粗大ごみ	ふとん、じゅうたん、テレビ、掃除機、ラジオ
不燃ごみ	応接セット、木製のいす・机、マットレス
有害ごみ	蛍光灯、電球、茶わん、植木鉢、ハンドバッグ、乾電池、体温計



「ごみ減らし、リサイクル運動の取り組みについて、(羽津連合婦人会長・四日市消費者協会会長)坪井妙子さんにお話を伺いました。」

このように、婦人会や、消費者協会では、ごみ減らしやリサイクルについて、強い関心を持ち、組織として、活動していますが、この運動を一人ひとりがもう一度、考えていただき、皆さんのご協力をお願いします。

「ものの命を永らえる」やさしい心で物とお付き合いしたいものです。

(1) ごみ減らしについては、まづ生ごみの焼却をやめ、コンポスト(生ごみ処理容器)を使った有機肥料化運動をしています。また、埋め立てごみのうち、トレイの回収を、大手スーパー(ジャスコ、サンシ)が協力してくれましたので、買い物の際、容器を持参すれば、目的を達成しますが、あくまでも皆の協力が必要です。

(2) リサイクル運動については、牛乳パックの回収を毎月二十日に実施しているほか、ビール瓶、紙類などの再生可能品と、空缶拾いの運動も個々に実施するようにしています。さらに、十月末に、廃油で石鹼を作る予定です。





四口市まひらの  
パートナー  
羽津小六年  
永田 りか

八月三日土曜日、四日市祭りのパレードの日。いよいよ今までの成果を発揮する日です。夏休み中暑い日さしの下で、楽器を持ち、隊形の練習をしている時、汗がだらだら顔にたれてきた事を思い出しました。総合センターの控え室に入ったとき、他のグループの人たちを見て私はびびりました。その人たちは、カラフルな衣装を着て、けしうまでしていたからです。私達は市民センターの南側へスタンバイしました。少し緊張してきました。でもいざ本番というころは落ち着いていました。そしてパレードは無事終了。ホ

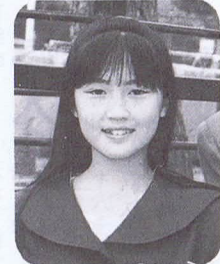


球技大会の練習とクラブの練習とが重なった日もあり、忙しかつたけれど、音楽クラブに入っていないければ、経験できない思い出もたくさん出て、入部して良かったと思っています。



### 朝鮮学校を訪ねて

羽津中一年  
森村 幸恵



私は、この夏休みに社会の資料を集めに、朝鮮学校に行った。私にとっては、初めての経験でとて

もうれしかった。朝鮮学校に行ってみると、生徒会役員の人たちが迎えてくれた。朝鮮学校の生徒たちは、日本語、英語、朝鮮語の三ヶ国語を覚えなくてはいけないから、たいへんだと思う。朝鮮学校の生徒たちは、自分たちの国を大切にしているし、みんな、この夏休みに自分の国に帰ったりしている。先輩と後輩の仲もとても良いし、うらやましくなった。部活も一生懸命やっているし、学校生活がとっても楽しそうだった。

私は、この夏休み、みんなが得意な貴重な経験をし、とても勉強になりました。

### 羽津北野球少年団の合宿

羽津北小五年  
藤本 亮

八月二十一日に霞ヶ浦荘で野球部の合宿があった。歩いて霞ヶ浦荘まで、約三十分かかった。着いた



てから、テレビやベッドの電気をつけようとしたけど、つかなかった。そして役員のお母さんが「プールに入るよ。」と言ったのですぐわすれて、プールに入った。みんなといっしょに遊んで、とてもおもしろかった。着がえてから外に出たら、雨がふっていた。ぼくはすぐびびりしたが、かまわず走った。ぼくは「あれ、みんないつ帰ったん。」と思わず聞いてしまった。そしたらみんなが、「ちょっと前に帰ったん。」と言った。その時ぼくの心は、ちょっとがっかりした。夜、みんなと、五目ならべ、しよんぎ、ゲームボーイをしていた。午前四時半になっていた。次の日、二チームに分かれて試合をした。とても楽しい合宿でした。

## 特集 羽津青少協

昭和三十七年、羽津地区に青少協が結成されてから三十年。今日の青少協の隆盛も、地区の皆様をはじめ、先輩ならびに関係者の方々の、献身的なご努力のためものと感謝しております。

### 学校5日制にむけて

最近、わが国では児童数が年々減少の傾向にあり、当地区も例外ではなく、単位子供会だけでは行事に参加出来ない町もでてきます。しかし、現在会員数は二千百十五名と四日市内ではトップを誇り、行事も活発に行われています。

さて、最近学校五日制の話をよく聞きますが、平成元年には試験校として六十八の小中高校が、また、平成四年度には、全国一斉に月一回の学校五日制が導入の予定になっています。そうすると、地域活動の団体である子供会活動の出番が、一層多くなってくるのではないのでしょうか。そこで青少協としては、家庭、学校、地域団体が一体となり、今まで以上に子供会活動を活性化していきたいと考えています。具体的には、昨年度より取り入れました竹細工



竹細工

の行事を、伝承遊びとして発展させ、出来れば他団体にも協力していただき、おとしよりから親、子供まで幅広い年代で共に楽しんでいただけたらと思っております。また、高校生や青年の方にも、ジュニア、シニアリーダーとして積極的に子供会活動に手をかしていただきたいと思っています。各地区で子供と一緒に遊んだり、お世話をしてあげようという若い方がありましたら、各町の育成会長まで連絡して下さいます様お願いします。

- 平成三年度行事報告
- 5/19 羽津地区青少協総会
  - 6/23 育成・補導合同研修会 講演「地域で育てる青少年」
  - 7/27、28 校庭キャンプ
  - 8/4 羽津地区少年少女球技大会 (富士電グラウンド)
  - 8/14、15 盆踊り大会補導
  - 8/18 少年少女中央球技大会で別名三女子チーム優勝
  - 10/6 電車旅行 (伏見桃山城キヤッスランド)
- これからの行事予定
- 11月 サブリーダー研修会
  - 12月 冬休み特別補導
  - 2月 文化節行事 (伝承遊び)
  - 3月 春休み特別補導

### 歴代会長

- 梅本 甚一 S37年～S40年
- 川村 佳夫 S41年～S42年
- 森 安吉 S43年～S46年
- 前田 弥吉 S47年～S50年
- 奥 高一 S51年～S56年
- 村瀬 重行 S57年～H元年
- 須藤 啓一 H2年～



キーホルダー作り

### 最後の大会でりっぱな成績

八田二丁目六年  
柳井理円子



校庭キャンプ

今年の球技大会で、私たちのチーム八田は、準優勝しました。ちょっと信じられないことでした。なぜって、去年八田チームは一回戦でぼろ負けだったからです。七月に入ってから練習をはじめたけど、練習試合は二回しかしてなかったし、二回とも負けていたからです。なのに、試合では見事に準優勝できたのです。はじめは「一回戦は勝っても二回戦は絶対負けるわ」と言っていました。その二回戦のチームは、練習試合をして負けたチームだったからです。

それなのに、同点でちゅうせんになって、私たちのチームが勝ち、勢いになって準優勝。私は六年なので今年が最後の大会でした。その大会で、立派な成績を残すことができたのを私はうれしく思います。



たのしい旅行



## 開催迫る!! 羽津地区大運動会

11月10日(日) 9:30～ 羽津小グランド

(雨天：体育館)

家族みんなで参加しましょう





敬老会



### 四日市まつり

青少協音楽クラブ  
バトン・ブラスバンド

晴れの舞台でひろうしました。



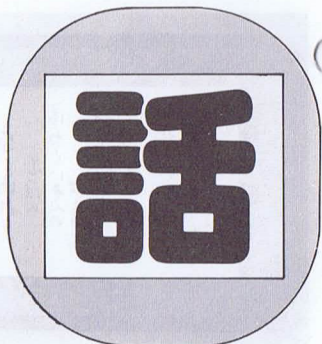
盆踊り大会



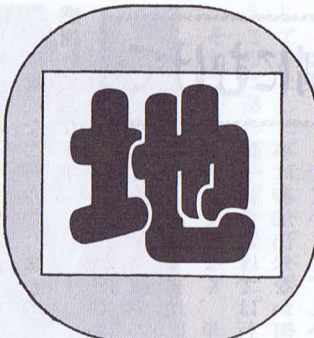
防災訓練



立川談之助  
落語独演会



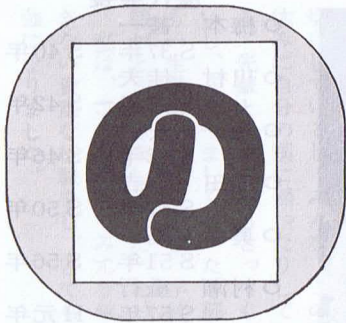
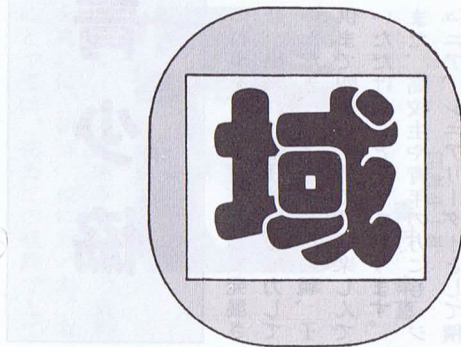
夏休み親子料理



### 第二回黒潮大会 日米親善 全国野球大会

七月三十一日から和歌山県で行われた大会に出場し、四十六チーム中、三位になることができました。子供達には、たいへん良い思い出になったことと思います。学校関係者及び羽津地区の各関係者のみなさんのご支援感謝しております。

羽津北野球少年団



体力作り市民大会

(訪問インタビュー)  
夏の甲子園で、全国のファンを沸かせた、四日市工業高校の野球部監督尾崎英也さん(32)を、羽津中一丁目の自宅に訪ねて、お話しを伺いました。  
尾崎監督は上野市の出身で、日本体育大学の野球部で活躍されたのち、昭和五十六年、四日市工業高校に教師として着任されました。  
昭和六十一年から羽津地区にお住まいで、現在、奥様と五歳の息子さんの三人家族です。  
※野球部員は何名ですか？  
「現在三年生を含めて、八十四名です。野球が初めての部員も多く、ボールの持ち方や、キャッチボールから教えないければなりませんでした。」  
※監督の指導方針は？  
「人間力で勝とう！ 努力と工夫、そして精神面を含んだ総合力です。」



部員に「やめたい」と言われる時が一番つらいそうです。挫折しないように、精神面への努力も惜しみなく援助を送る。人間性豊かな監督ですが、クラブの後、残務整理や、明日の授業の準備で、毎日帰宅が夜の十一時ごろになり、子供さんとの交流が出来ないのが悩みだそうです。  
※甲子園に出場して変わられた事は何の様なことですか？  
「変わらないように注意しており、今まで通りに、これからも生活して行きたいと思っています。」  
※対松商学園、十六回の延長戦の感想を？  
「監督として、選手を見殺しにした、という気持ちです。」  
※来年に向けての抱負を！  
「甲子園よりも、まず県で優勝すること。とりあえず、二年生チームによる秋季大会、そして春の選抜出場に。」と野球への熱い思いを、力強く語られる尾崎監督でした。



# 羽津の歴史散歩

羽津郷土史研究会

森 元三

旧羽津村一区・二区について

第一区を明治二十二年の八幡村誌から調べますと、八幡を本部に分郷白須賀、中の河原、田市場の内三戸が含まれ、総数八十六戸、人口四百三十七人、社が四社、寺が一字、舟三艘、荷車七両、人力車が九両もあったとは驚きです。当時、東海道筋の西側には、深い森に覆われた八幡神社があった。明治四十二年に志氏神社に合祀されたあと、森は取り払われ、米洗川北の村境にあった地蔵さんが現在の位置に移されたのである。そのお堂より南に八幡村が部落をなしており、商人、旅行者が往き来していたものである。



次に、現在の八田一丁目の半分を構成していた第二区の川原須に移ります。地名は「かわらさず」ですが、様子は一変しています。

北半分は八田一丁目となり、羽津北小学校区。羽津中学校道路を境に堀切橋までの南半分は羽津町となり、羽津小学校区として「かわらさず」。道路建設に伴う区画変更により、十数戸の部落は、お講や組付き合いにとまどったことでしょう。

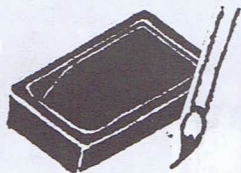
瀬古製粉南を流れる堀切川は、今は改修されていますが、往時は葦の生えた湿地帯でした。街道の西の丁長、永松、西谷、丁の坪の田圃を灌漑した悪水がここに集中して、下流の「人造堰」を経て海へ流れていました。川から南は北条といい、道路西側は鳥居の宮道まで、

道路の東側は「さんまい道」が境で、この間に米屋、酒屋、雑貨屋、指物屋、医者、戸長役場が並び、奥に入った所に羽津村最初の小学校がありました。この辺の呼び名である鳥居は、享保十八年（二百六十年前）の石鳥居で、付近には参宮道中はなやかな当時の夫婦岩や文政、天保時代の燈明等が集まっています。更にここから南へは中北条になり、羽津の大刹光明寺の門前町をつくっていました。

## サークル紹介



### 羽津の



## 書道

流れるように筆先が走り、白い紙面が鮮やかな墨跡にうまっていたくそんな字が書けたらという思いで毎週サークルに集まる会員。ワ

(箭峰会)書道	第1・3金	19:00~21:00
(婦人会)書道 火曜コース	第1・3火	9:00~12:00
(婦人会)書道 木曜コース	第2・4木	9:00~12:00

## 健康体操

健康体操	水曜	19:30~21:00
健康体操サークル3B	土曜	9:30~11:00
健康体操サークルはづ	月曜	10:00~11:30
ダーマ・ヨガ	月曜	19:30~21:00



「少しでも美しくありたい!」「健康を保ちたい。」と願って週一回みんなで顔をあわせて汗を流しています。あなたも、今日から健康美人に参加しませんか。

## 編集後記

「プロ文字全盛の時代にひと味違った文字が書けたらと、練習に励む人たちが。年齢、うでまえもいろいろな人がひとつの願いで集まっています。一度、のぞいてみませんか。」

ひと雨ごとに秋の気配を感じますが、皆様いかがお過ごしですか。今回もまた、ごみの問題をとりあげましたが、いまだに、ごみ出し三原則が守られていないためです。一層のご理解と、ご協力をお願いいたします。

新たに、サークル紹介コーナーを設けました。一度やってみようと思われる方は、羽津地区市民センターへ連絡してください。

### 編集委員

- 山本 鉄男・天野 平一
- 森 博司・大和みさ枝
- 久楽 英子・井上キヨ子
- 小井 正史・下谷真由美
- 沢木 愛弓

羽津地区市民センター

